



2026年1月30日

各 位

会 社 名 EIZO 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 COO 恵比寿 正樹  
(コード番号 6737 東証プライム)  
問合せ先 取締役 常務執行役員 経理部長  
兼 IR 室長 有生 学  
電話番号 076(275)4121

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年5月8日に公表しました2026年3月期通期(2025年4月1日～2026年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正することいたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 当期の連結業績予想数値(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 85,000	百万円 4,800	百万円 6,100	百万円 4,400	円銭 106.90
今回修正予想(B)	79,000	1,400	2,900	3,200	78.93
増減額(B-A)	△6,000	△3,400	△3,200	△1,200	
増減率(%)	△7.1	△70.8	△52.5	△27.3	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	80,493	3,706	4,555	4,148	100.81

#### 2. 修正の理由

当社の主要市場である欧州では厳しい経済環境が続いています。とりわけ主要販売国であるドイツ市場において、モニターの販売は前年を下回る状況となっており、北欧においてもウクライナ情勢の長期化を受けて厳しい状況が継続しています。また中国においては景気弱含みの中、地政学リスクの高まりにより先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下、B&P (Business & Plus)市場向けやクリエイティブワーク市場向けは、欧州における需要の低迷により当初予想を下回る見通しです。ヘルスケア市場向けは欧州、北米及び中国で販売が回復基調となり、海外向けの販売は好調に推移しているものの、日本では病院経営が悪化している状況下において販売は軟調であるため、ヘルスケア市場向け全体では当初予想を下回る見通しです。V&S (Vertical & Specific)市場向けは航空管制用途向において当初見込んでいた販売が翌期に後ろ倒しとなるため、減収となる見込みです。一方、航空管制用途以外の分野では、当初計画通りに推移する見通しです。これらの結果、全体の売上高は当初予想より減少する見通しです。

利益面では、上述の減収影響に加え、欧州市場の停滞に伴う販売減少により、B&P市場向けの旧機種に過剰在庫となっている製品等の棚卸資産評価損として期末に約400百万円を売上原価に計上し、減益となる見込みです。なお、旧機種在庫の消化を一段と進め、競争力のある新機種への切り替えを加速させてまいります。

また、特別損益として第4四半期中に約600百万円の追加の利益計上を見込みます。政策保有株式等の処分に伴い、投資有価証券売却益として約950百万円を特別利益に計上する見込みです。一方、保有する無形固定資産のう

ち、製造効率化を目指して前期に稼働開始した新製造実行システムが、工場が低稼働な状況下で当初見込んだ効果が得られないため除却処分を決定するに至り、期末に約200百万円の固定資産除却損を計上する見込みです。加えて、欧州の販売子会社において業績の改善が遅れており、保有している固定資産の帳簿価額に対し、回収可能価額が下回る見通しとなりました。これにより、減損損失として約150百万円を特別損失に計上する見込みです。

これらの結果、2026年3月期の通期業績予想は、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、それぞれ前回予想を下回る見通しとなりました。なお、今回業績予想の修正にあたり、第4四半期に適用する為替レートを1ユーロ=157円から182円、1米ドル=143円から158円に変更いたしました。

配当については、2025年5月8日に公表しました予定(期末配当 55円00銭)に変更はありません。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上